

(一社) 栃木県子ども会連合会

# 子ども会 栃木

2022. 3  
Vol. 15

県内各地の子ども会活動を紹介  
教えて! みんなの子ども会

令和4年8月開催の関東甲信越静地区  
Jrリーダー大会へ向けて!  
輝け! ジュニア・ユースリーダー

【令和3年度の県子連事業の様子等】

令和3年度表彰事業 安全会だより

「安全啓発部会」活動報告

子ども会育成者・指導者研修会



## 「体験活動と座学」

一般社団法人 栃木県子ども会連合会 会長 内藤 進

新型コロナウイルス感染症の変異株が消滅しては、それに代わる新しい株が発生する連鎖の中に私達はいます。

その状況下で、安全確保のために諸活動の中止、延期を繰り返してきました。しかしながら、このコロナ禍にあっても、各市町子連では綿密な対策を講じて、できる活動を選択し実施してくれました。改めて感謝いたします。

このコロナ禍で、令和4年度の大きな事業として「第49回関東甲信越静地区ジュニア・リーダー研修会」が開催されます。令和4年8月19日～21日、2泊3日で、「なす高原自然の家」を会場に関東甲信越静地区の各県から150名のジュニア・リーダーと関係者が集う研修会の開催が決定しています。

現在、全県下から手を挙げてくれたユース・リーダー17名が企画・運営の作成や見直し、タイムスケジュールの調整など、最後の追込みに知恵を出し合っています。2月初旬には、関係者に対して「プレゼン」も実施されたところです。

広報誌「子ども会栃木」が皆さんに届く頃には、素晴らしい企画書が仕上がっていると確信しています。

唯一の危惧材料は、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながらの活動になるのかなと考えています。ユース・リーダーのメンバーもそこに重きを置いて計画を練っています。新型コロナウイルス感染症が沈静化されないであろうと想定して、メンバーは活動しています。

オンライン会議も複数回開催し、活動が停滞しない様工夫をしながら準備を進めています。

栃木県子ども会連合会全ての会員は、関東ブロックレベル以上の大きな大会では、県下全会員が一致協力し事業を推進し、その中で全体のレベルアップを図り、その成果を市町子連に持ち帰り反映させてきました。この考え方は現在も脈々と流れています。

会員の皆さん、ユース・リーダーの面々がやって良かったと思える様、私たちも応援しようではありませんか。宜しくお願いします。

そして、この体験活動で学び、座学で様々な知識を吸収し、それを体験活動に取り囲み、より進化した活動を目指していただければ、子ども達にも育成者にとっても、前進できる令和4年度になると期待しています。

## 表彰関係

令和3年11月16日(火)に県総合文化センターで行われた「令和3年度 心豊かな青少年を育む県民のつどい」において、県子連関係者から2名が表彰されました。心からお祝いを申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

◇敬称略

### ● 栃木県青少年健全育成表彰（知事表彰）

澳原 初男（栃木県子連副会長、矢板市子ども会連合会会長）

### ● 栃木県青少年育成県民会議表彰（子ども育成・憲章功労者表彰）

佐藤 重敏（栃木県子連理事、大田原子供会育成会連絡協議会会長）



澳原さんご夫妻

### ● 令和3年度 県子連会長表彰受賞者

令和3年5月16日(日)に行われた「県子連定時総会」において、長年に渡るご活躍に対して、県子連表彰が行われました。受賞された皆様、誠におめでとうございました。

◇敬称略

#### 《個人表彰》

- 竹澤靖（鹿沼市）
- 中根友菜（足利市JL）
- 角田良博（小山市）

#### 《市町子連会長退任者表彰および配偶者感謝状》

- 山口康夫・恵美子（宇都宮市）
- 鈴木邦英・由紀恵（高根沢町）
- 高橋裕司（日光市）
- 大友克明・里恵（那須町）

#### 《県子連会長推薦表彰》

- 佐藤重敏（大田原市）
- 川田 進（益子町）
- 山崎明（上三川町）

#### 《県子連役員退任者表彰》

- 山口康夫（宇都宮市）
- 大木司（茂木町）
- 中西幸子（宇都宮市）
- 平野友美（那須烏山市）
- 稲見綾子（下野市）



# 安全教育推進事業

## 『子ども会活動と安全対策』

栃木県子ども会連合会 安全啓発担当主任 原田 忠

子どもたちを取り巻く近年の生活環境は、著しく変化している状況で、子ども会活動においても色々な制約を受けての活動となっています。



なかでも、子どもたちを含め、活動に参加された方々に対する「事故防止」が大変重要になります。

子どもたちが活動中に「ケガ」をすることが考えられますが、擦り傷や切り傷などの「ケガ」で済めば大きな問題になることはないかもしれません。

子どもたちを取り巻く指導者・育成者の方々は、子どもたちが安全に活動できる環境を担保する責任がありますが、どのようなことが要因となって大変重大な事故や災害が活動中に発生するかわかりません。

そのため、県子連では、「子ども会 KYT」「安全啓発初級指導者養成」などの講習会を開催して、子どもたちを取り巻く指導者・育成者の方々に対する安全指導を行っています。

安全啓発指導委員は、現在6名で講習会などに参加いただいた方たちに安全対策を分かりやすく説明するための手法を研鑽しております。

指導者・育成者のみなさんが、日頃の子ども会活動における問題点や課題を県子連事務所へお寄せいただければ、今後の子ども会活動における安全啓発に反映させていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。

全子連（全国子ども会連合会）では、昭和51年8月に子ども会の活動中に発生した死亡災害を教訓に「子ども会KYT」活動を約30年前から開始し、子ども会活動に当たっての危険予知を修得するため講習会を開催してきました。

平成29年からは「子ども会KYT」を包括した「安全啓発活動」として展開されています。



KYTって？  
Kー危険  
Yー予知  
Tートレーニング

## ● 令和3年度 子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

令和3年6月27日（日） 於：とちぎ青少年センター 第1・2研修室

県子連では、「子ども会安全啓発初級指導者養成講習会」を年1回開催しています。

今年度は、県子連指導委員（安全啓発）の加藤富男氏と大橋登美子氏が講師となり、単位育成会の育成者やジュニア・リーダー等が参加し、熱心な講習会が開催されました。

講習会終了後には全子連より終了証が交付されたところですが、初級講習会を修了した方については、是非、関東甲信越静地区主催の「中級指導者養成講習会」へもご参加いただき、地域での安全対策を進めていただきたいと思います。



子ども達の身の回りは元より、最近では気候変動などによって、思いもよらない自然災害なども発生しています。県子連では、子ども達が、普段の生活から、自ら危険を予知し、安全を確保する行動が取れるよう、更なる「安全啓発活動」を進めていく必要があると考えています。

# リーダー養成事業【輝け！ジュニア・ユースリーダー】

県内の子ども会やジュニア・リーダークラブ及び青少年健全育成団体に関わる中学生・高校生が一同に会し、自然体験学習の指導法や子どもの育成等を学ぶことを通して、個々の意識および技術を高め、栃木県の青少年健全育成を推進しています。

## 令和3年度 栃木県子ども会ジュニア・リーダー研修大会

令和3年6月5日(土)～6日(日) 於：県立なす高原自然の家

昨年度はコロナ禍により実施できなかった「子ども会ジュニア・リーダー研修大会」ですが、今年度は徹底した感染対策を行いながら、「ジュニア・リーダーについて共に学ぼう」をテーマに、2年ぶりに「なす高原自然の家」を会場に開催され、ジュニア・リーダー16名(中学生4名、高校生12名)及びユース・リーダーや関係役員等11名の計37名が参加しました。

主な活動としてKYTやレクリエーション活動、キャンドルサービス、ハイキング、ワークショップ等が行われ、久しぶりの宿泊研修でジュニア・リーダー達は多くを学び、貴重な体験と経験を積むとともに、新たな親交を深めるなど、実り多い研修会となりました。

### ◆KYT(危険予知トレーニング)

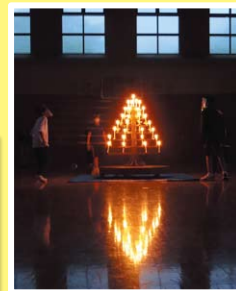
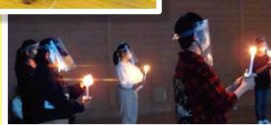
野外炊飯での一コマをテーマにKYTを行いました。2日間の研修の最初のプログラムということで、参加者達は緊張気味なスタートでしたが、持ち前の積極性や明るさで、あっという間に部屋中が盛り上がりとともに、実際のキャンプを想定しながらの実践的な研修が行われました。



### ◆キャンドルサービス、レクリエーション活動等

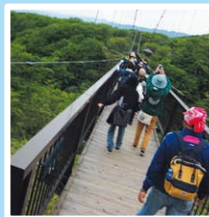
午後は、スタンプの練習やレクリエーション活動等を行いました。絶妙なユーモアを交えながら、班毎に想像性豊かなスタンプを創作。

夜には、キャンドルサービスが行われ、楽しく、思い出深い時を過ごしました。



### ◆ハイキング

2日目のメインプログラムはハイキング。と言っても往復3時間のかかなり厳しいコース。さすがのジュニア・リーダー達も終わった後は疲労困憊の様子でした。でも、途中で、皆で歌を歌ったり、励まし合いながら歩いたりとな須の大地を大満喫。出会った仲間たちとの絆を更に深めました。



ジュニア・リーダーたちの「もっとスキルアップしたい!」「レクやゲームのレポートリーを増やしたい!」「他地区のジュニアの活動や情報を知りたい!」などの声に応えられるよう、今後も継続的に県内のジュニア・リーダーの交流の場と健全育成を目指し、リーダー養成事業を県子連として盛り上げていきたいと考えています!

## 子ども会育成者・指導者研修事業

### ● 子ども会育成者・指導者中央研修会

#### 「コロナ禍での子ども会活動のあるべき姿を共に考える」～「社会を生き抜く力」の育成を目指して～

令和3年7月4日(日) 後援：栃木県教育委員会 於：とちぎ青少年センター 第1・2研修室

国立青少年教育振興機構理事 伊野巨氏をお迎えし、「国立青少年教育施設における小・中学校の集団宿泊的行事に関する調査」の結果をもとに、「コロナ禍における青少年活動の現状と課題」、「コロナ禍における集団宿泊活動・体験活動の成果と安全面の配慮」について、お話しを伺いました。

各グループに分かれてのワークショップでは、子どもたちの社会を生き抜く力の育成に向けた実践的な意見交換や講義等が行われ、ポストコロナ社会だからこそ体験活動や子ども会活動が重要であることを改めて実感しました。



### ● 子ども会育成者・指導者研修会

#### 「ファシリテーターの役割と基本的なスキルを学ぼう」

令和3年10月31日(日) 於：教育会館 大会議室

栃木県総合教育センター生涯学習部副主幹の田辺剛氏をお迎えし、今後の子ども会活動等においても重要なスキルとなる「ファシリテーション技術」などの研修が行われました。

集団による問題解決やアイデア創造、合意形成などを促進するための具体的な手法や考え方等をグループワーク等を中心に学び、ユースリーダーや各育成者・指導者が活発な意見交換を行いました。

来年度に実施予定の関プロジュニアリーダー研修会において、成果が発揮されることが期待されるそうです。



## 第49回 関東甲信越静地区 子ども会ジュニア・リーダー研修会栃木大会に向けて！

「第49回関東甲信越静地区子ども会ジュニア・リーダー研修会栃木大会」が、令和4年8月19日(金)～21日(日)の2泊3日の日程で県立なす高原自然の家を会場に開催予定です。

この栃木大会の成功を目指して、令和元年11月に準備委員会を立ち上げ、現在、着々と準備を進めているところです。

メンバーは、県内各地から集まった17名のユース・リーダーを中心に、研修プログラムの詳細やタイムスケジュールの細かな調整等に奮闘中ですが、久しぶりに本県での開催となる本大会で、参加するジュニア・リーダーたちに一生の思い出をプレゼントできるよう、知恵と情熱を合わせ、頑張っているところです。

未だ新型コロナウイルス感染症の行方は不透明であり、先行きに不安も残るところではありますが、来年度の本番は是非実施出来るよう、また、多くの本県ジュニア・リーダーが参加し貴重な体験と経験を積み豊かな友情を育められるよう、祈るばかりです。



# 教えて！みんなの子ども会！



このコーナーは、今年度県内各地の市町子連や単位子ども会で行われた活動を紹介しています。(12月までに報告いただいた活動) 残念ながら、コロナ禍で活動自体が少ない状況ではありますが、来年度こそたくさんの報告が寄せられることを期待しているところです。

是非、皆さんの子ども会の楽しい活動の思い出などをお寄せください！



## 大平リーダースクラブと遊ぼう！

開催場所：栃木市大平公民館、冒険遊び場ねずみもちパーク

地区等：大平町リーダースクラブ

開催日：令和3年11月～

概要：大平町リーダースクラブでは、緊急事態宣言が解除されてから、少しずつできる事から活動を再開。12月11日(土)にはリーダースのスキルアップを目指し、安全啓発講習を行いました。講師として県子連の安全啓発指導員である大橋さんに基本的な事項から改めて安全啓発の考え方などを学びました。また、各子ども会の行事が中止となっている中、「ねずみもちパーク」に遊びに来てくれた子ども達と一緒にレク活動を行いました。子ども達を相手にレク活動を初めて行う中学生メンバーは、緊張しつつも子ども達と楽しくレク活動を行うことができ、良い経験になりました。



## 子ども会絵画展

開催場所：鹿沼市文化活動交流館

地区等：鹿沼市子ども会連合会

開催日：令和3年10月30日(土)・31日(日)

参加人数：561人(絵画出品数)

テーマ：わたしの鹿沼じまん

概要：郷土鹿沼市の風景・産業・祭り・学校や地域の行事・子ども会行事や市内の施設などに関心を持って絵画を描くことにより、自分たちのまちや鹿沼についての理解を深めるとともに、豊かな感性を育てる事を目的に、市子連の事業として毎年実施、今年で35回目。今年は小学生541点、中学生20点の応募があり、市長賞や教育長賞、市子連会長賞等を選出。10月30日・31日には展示を行い、300人近くの来場者を迎えました。最終日には表彰式を実施、多くの受賞者の参加をいただきました。

子ども達の声：・夏休みに頑張って描いたから、「市長賞」に選ばれてうれしかった。

指導者の声：・「いちご」に関する絵画が約20%と、児童たちにも「いちご市かめま」が浸透しているようだ。  
・コロナ禍により展示会等の催し物の中止が多かったが、今回絵画展が開催できて良かった。



## 「敬老の日」の手紙作成

開催場所：桜ヶ丘バス停留所エリア  
 地区等：さくら市桜ヶ丘育成会  
 開催日：令和3年9月10日(金)  
 参加人数：10名

テーマ：敬老の日を知ろう。敬老の皆さんに感謝を伝えよう

概要：コロナ禍のため、個別にカードを配り、各自作成し、各該当家庭に配布した。

子ども達の声：地域のお年寄りの皆さんにいつもお世話になっていたため、気持ちを表せて良かった。

指導者の声：集合せずに個別作業で作成。ミニカードを配布し各自家庭で記入後取りまとめ、自治会役員さんが各戸に渡して下さりました。育成会の行事として、子ども達が訪問して手紙を渡してきましたが、今年は止むを得ずこの形式になりましたが、皆さんに喜んでいただけて良かったです。



## ジュニアチャレンジ教室

開催場所：宇都宮市姿川地区市民センター  
 地区等：宇都宮市姿川リーダーズクラブ(SGLC)  
 開催日：令和3年12月11日(土)  
 参加人数：約30名

概要：生涯学習センターが主催する講座「ジュニアチャレンジ教室(小学生対象)」の企画・運営  
 内容：レク・ゲーム、工作(ツリーオーナメント等)、楽器演奏・合唱(エンディング)

子ども達の声：・SGLCがゲームやツリーに飾る楽しい工作を教えてください、楽しかった。

SGLCの声：・コロナ禍だったため、初めての実践となり緊張した。クリスマスらしい内容となるよう約2ヶ月の作戦会議や練習を経て本番を迎えたが、来てくれた小学生たちが喜んでくれて良かった。1月に実施予定だった第2弾の「お正月会」が、またもコロナで中止となり残念だった。次の機会も頑張りたい!

指導者の声：・昨年度は会員募集や活動が全く出来ず、ほぼ新規の中学1年生だけでの実践となったが、短い時間でレクやゲームを習得し、自分達で率先してプログラムや工作等の企画を練るなど、よく頑張ったと思う。  
 ・子ども達や中・高生達の貴重な体験の機会が激減している。早い終息を心から願うばかりです。



## ご存じですか? 「子ども会活動のしおり」

県子連では、子ども会活動のマニュアル本として「子ども会活動のしおり」を公開・発行しています。

このしおりは、経験の有無や年数等、それぞれが違う立場や環境にあるそれぞれの育成者に合わせ、段階的に構成されています。特に、経験が少ない育成者の方にとっては、平易で分かりやすい作りになっていると思います。

県子連のホームページから簡単にダウンロードできるとともに、製本版をご希望の市町子連には1冊150円で販売しています(在庫数限り)。皆さんの活動に是非ご活用ください。

- Vol.1 入門編 子ども会って? 遊びを通じて成長する子どもたち 等
- Vol.2 入会編 まずは入会してみましょう 子どもと一緒に大人も学ぶ 等
- Vol.3 活動編 子ども会活動の基本 子ども会活動の四季 子ども会活動の支え 等
- Vol.4 推進編 仲間と共に子どもたち自身の手で 子ども会と育成会とは 等
- Vol.5 指導編 良き指導者とは? 指導の実際 等
- Vol.6 KYT編 安全と健康は子ども会活動の要 5~10分間の現場KYT 等
- Vol.7 その他 育成会や子ども会の会則例等の掲載



# 安全会だより

「ネット加入」  
といえます

★令和2年度から全国子ども会安全共済会への加入がインターネットで出来るようになっていました！

## キーポイント

- ① 導入するのは市町子連の中で、**希望する単位子ども会のみ**です。(強制ではありません)
- ② メリットは、前年度入力した名簿を次年度も応用して使用できるので、**手間が省ける**ことです。
- ③ 希望する単位子ども会は、市町子連を通して県子連から全子連に申込みが必要です。
- ④ 単位子ども会の担当者は、インターネット環境があることが条件です。



『単位子ども会 → 市町子連 → 県子連 → 全子連 (全国子ども会連合会)』がインターネットでつながって始まります。

## 「単位子ども会」からの加入手続き

- ① 希望する単位子ども会は、市町子連に「ネット加入」導入の意思を伝え、申込みます。
- ② 市町子連から通知されたURLで全子連の安全共済会ネット加入ページに入ります。
- ③ 最初にユーザーIDとパスワードを単位子ども会独自に設定し、代表者等の必要事項を入力して、単位子ども会情報登録をします。
- ④ 登録が完了したら、ログインして加入者名簿や年間行事計画等を入力します。
- ⑤ 入力が終わったら、ネット加入用の<共済様式>加入-11S を記入します。
- ⑥ 単位子ども会会長印を押して、この用紙1枚と人数分の会費を市町子連に届けます。



## 「市町子連」での手続き

- ① ネット加入を希望する単子がある市町子連は、県子連を通して全子連に申込みます。
- ② 全子連から各市町子連にユーザーIDとパスワードが指定されてきます。ログインすると当該市町子連内でネット加入を採用した単子の名簿や年間行事計画等、入力された情報を閲覧できます。(加除修正や他市町子連の情報閲覧等は出来ません)
- ③ ネット加入した単子からネット加入用の<共済様式>加入-11Sと会費を受取ったら、ログインしてその単子の名簿を開き、合計人数が一致しているか確認します。同時に会費も確認。
- ④ 確認できたら、ネット加入用の<共済様式>加入-02S を記入します。(ネット加入採用の単子と、従来の書類による単子の両方について記入)
- ⑤ 両方の加入方式による合計人数分の会費を県子連に振込みます。
- ⑥ 市町子連が県子連に送る書類は、従来の書類加入による単子の従来の書類と、ネット加入採用の単子の「加入-11S」及び市町子連が作成した「加入-02S」となります。
- ⑦ ネット加入を採用した単子分の名簿や計画書等の書類が無くなります。



お父さん、お母さんも一緒に入ろうね！

## 令和4年度 栃木県子ども会連合会主催事業

月日	主催事業	会場	月日	主催事業	会場
4/17(日)	第1回理事会 第1回市町子連会長会議	教育会館	11/6(日)	第2回県子連理事会 第2回市町子連会長会議 子ども会育成者・指導者研修会(※)	教育会館
5/15(日)	定時総会	教育会館	1/29(日)	第2回ジュニアリーダー研修会(※)	青少年センター(予定)
5/28(土)~29(日)	ジュニアリーダー研修大会(※)	なす高原自然の家	2/3(金)	安全共済会説明会(オンライン開催)	教育会館
6/19(日)	安全啓発初級指導者養成講習会(※)	青少年センター	2/5(日)	安全共済会ネット加入説明会	教育会館
7/3(日)	子ども会育成者・指導者中央研修会(※)	教育会館	3/12(日)	第3回理事会 第3回市町子連会長会議	教育会館
8/19(金)~21(日)	関プロジュニアリーダー研修会 栃木大会(※)	なす高原自然の家			
10/2(日)	第1回ジュニア・リーダー研修会(※)	青少年センター(予定)			

- 県子連が主催するスキルアップ研修(※印)に奮ってご参加ください。
- 詳しくは、各市町子連に記られる開催要項をご覧ください。
- 希望する場合は、各市町子連事務局を通してお申し込みください。

【発行】一般社団法人 栃木県子ども会連合会

〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL.028-621-1154 FAX.028-621-1124

E-mail:tochigikenkoren@ia1.itkeeper.ne.jp ホームページ: <https://www.kodomo-kai.or.jp/tochigi/>

【発行責任者】会長 内藤 進